



けんびょういん

No. 22

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 平成22年4月30日発行 第22号

ホームページアドレス <http://www.tajimi-hospital.jp/>

発行責任者／原田 明生

編集／地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院広報委員会

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院の基本理念

基本理念

安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。

行動指針

- 1 わかりやすい言葉で分かりやすく説明します。
- 2 安全を何度も確認することを怠りません。
- 3 常に高度先進医療を取り入れ、最新・最高の医療を目指し自己研鑽に努めます。
- 4 倫理観に基づく医療人としての誇りと自覚をもって取り組みます。
- 5 健全経営に努めます。



理事長兼院長
原田 明生

県病院の新しい歴史が始まりました！

県病院は平成二十二年四月一日から地方独立行政法人岐阜県立多治見病院として新たな一歩を踏み出しました。私も理事長兼院長を拝命し、先日完成した新病棟、職員一同と共に新鮮な気持ちで日々業務に励んでいます。

現在全国の公立病院は、医師・看護師不足、経営難、急激に高まる医療の質の高度化や期待度への対応不足など多くの難題を抱えています。これらはそれぞれに密接な関連があり、高齢化社会に入った国としての医療政策の問題が大きいのですが、一方で各医療機関での努力も当然ながら求められています。

公立病院はその経営母体が自治体にあるため、さまざまな手続きが経営という側面から考えられておらず、病院事業の現場になじまない事も多くありました。それを解決する手段として今回岐阜県は3県立病院の独立行政法人化を行いました。

地方独立行政法人とは？

公共上の見地から確実に実施される必要があるものの地方公共団体（県）が直接実施するまでの必要のない事業について、より効率的、効果的に行わせるために設立した法人です。法人には県の指示した中期目標を達成するための自律性、機動性、柔軟性を持った病院運営が求められています。病院の機能については現状以上の目標が定められており、今までと診療内容の変更などは全くありません。

今後の目指す方向

病院の使命は住民の皆さんに質の良い医療を提供することです。特に私ども県病院は東濃、中濃東部地域の基幹病院として大きな役割を担っています。地域の医療を守る最後の砦として、救命救急をはじめほとんどの病気の二次、三次診療を行っています。結核病棟、感染症病棟に加えて地域初めての緩和病棟もまも

なくオープン予定です。また現在閉鎖中の精神科病棟も近い将来の再開をめざしています。

どんな組織も同じですが、社会的に良い仕事をするためには中で働く職員が明るく、楽しく、やりがいと誇りを持つことが大切だと思います。職員が今までの公務員の枠から一歩踏み出して今まで以上に活躍できるような環境を整えるように努力する所存です。またこれからの病院は地域との連携が大変重要になって来ます。病院、診療所との医療連携システムを整備して役割分担を進めていきます。市民公開講座などの住民の方との交流もさらに機会を増やしていけたらと思っています。院内のボランティア活動にも力を入れていきますのでご参加いただければ幸いです。

私ども職員一同は病院の基本理念、行動指針に沿って、今まで以上に住民の皆様信頼していただける病院をめざして努力していきますのでよろしく願います。

新病棟が完成しました！

去る二月二十日、新病棟の竣工式が行われ、三月一日より運用を開始しました。

岐阜県立多治見病院は、昭和四四年の開設以来、東濃地方の基幹病院として、がん医療、周産期医療、救命救急医療、精神医療、結核・感染症医療など、さまざまな分野で高度な医療を提供してきました。

しかし、施設の中には築三十年、四十年を超えるものも存在するなど、老朽化や狭隘化が著しく、現在の耐震基準に適合した耐震性能を有しておらず、また、現在の医療水準に適合した医療環境や療養環境を提供できないといった状況となっていました。

このため、「安らぎとゆとりの療養環境」、「より良い患者サービス」、「労働環境の向上」を目指し、東濃地域の基幹病院としてふさわしい「二十一世紀型の病棟」を整備しました。

「整備の方向性」

①医療機能の充実・強化

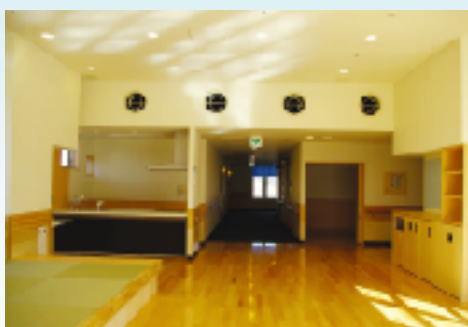
【緩和ケア病床の設置】

悪性腫瘍などの末期医療に際し、患者様の人間的な尊厳を保ちつつ、心身の激しい苦痛を和らげるために緩和ケア病床（二十床、全室個室）を設置しました。

緩和ケア病床は眺望の良い最上階に設け、患者様やご家族が穏やかに安らかに過ごせるよう専用の屋上庭園、家族控室、台所やデイコーナーも併設しました。



緩和ケア病床



デイコーナー

【無菌個室の設置】

白血病などで免疫・抵抗力が低下した患者様の治療のため、他の病室と前室で区切り、特殊なフィルターで空気を除菌する無菌個室を設置しました。

②災害への対応強化

【地震等 防災対策の強化】

地震による建物の損壊や医療機器の倒壊を防ぐ為の免震装置を設置しました。

また、医療ガスタンクを現状の二倍容量とし、災害で孤立した場合においても救援物資が届くまでの三日から五日程度の病棟機能の維持を可能としました。

③患者様中心の施設整備

【入院環境の改善】

ベッドサイドに窓を備えたゆとりある病室とし、患者様から要望の多い個室の割合を五十%と大幅に高めました。

個室はもちろん、多床室にも部屋ごとにトイレを設置し、患者様の早期離床を促進するとともに、高齢者等の利便を図りました。

患者様とご家族、見舞客などが快適に懇談できるデイコーナー、談話室などを随所に設置したほか、屋上庭園も設置しました。

美濃和紙、県産材松間伐材、美濃焼タイル等、伝統ある優れた県産品

を豊富に使用し、和みと癒しのある療養環境を演出しました。

【広い駐車場の整備】

本整備に伴う旧病棟解体により、新病棟南側に約三四〇台を収容できる駐車場を整備します。



一般病床



入院患者用食堂



アトリウム



屋上庭園



一部にオレンジ色を配色した
あたたかみのある外壁

【省エネの推進】
環境にやさしいガスコージェネレーションシステムや太陽光発電など、省エネと二酸化炭素の排出抑制に配慮したエネルギーシステムを導入しました。

⑤ 環境やコストに配慮した建築

現在、絶対的に不足している休憩室、仮眠室及び医局スペースを拡充し、快適な職場環境を提供します。

【職員スペースの拡充】

一病棟あたりの基準病床数を四二床とし、看護師の負担を軽減させるとともに、看護師が患者により近い位置で勤務することで安心感と安全性を高めます。

【看護機能の充実】

④ 職場環境の向上

病床数の変化

	2月28日まで	3月1日から
一般病棟	542床	562床
精神病棟	120床	46床
結核病棟	13床	13床
感染病棟	6床	6床
合 計	681床	627床



病院全景

中央放射線部から

医療被ばく低減に努めています

診療放射線技師 後藤 茂

X線診断、放射線治療、核医学検査によって患者さんが受ける放射線被ばくを医療被ばくといいますが、日常のX線診断においてはごく微量なので心配ありません。

当院の一般撮影（骨など）は、被ばく線量の低減のためすべての撮影において被ばくガイドライン（国際原子力機関・日本放射線技師会）が定める低減目標値より低い被ばく線量で撮影しています。（表・被ばく線量の一例）NDD表面線量簡易換算式により被ばく線量を算定）

検査部位	当院の測定値(mGy)	ガイドラインの低減目標値(mGy)
胸部 正面	0.21	0.3
腹部 正面	0.86	3
股関節 正面	1.09	4
乳児 股関節	0.084	0.2



心臓カテーテル検査室（被ばく線量監視中）

また、X線透視下で行う血管内手術など、特殊な検査や治療はX線透視時間、撮影回数が多く被ばくも増加します。そこで低線量モードも使用し被ばくの低減化に配慮し、また線量を監視し、一定線量に達した時点で、医師に注意を促しています。

今後とも医療被ばくの低減に努め、診断情報の多い高度な医療画像の提供に努めていきます。

看護部から



理事兼副院長兼看護部長 糸川 邦子

平成二十二年は、病院にとっても看護部にとっても大きな新しいことがありました。

一つ目は、二月二十八日に新病棟が完成し入院患者さん共々無事に引越しができたことです。当初心配していましたが、二時間程で無事に患者さんの引越しは終了することができ安心しました。現在は新しい病棟で迷いながらも生き生きと業務に励んでいます。

二つ目は、四月に地方独立行政法人化したことです。今までの岐阜県職員から法人の職員に変わりました。法人化したことで看護師の待遇も改善された部分もあり、喜んでいきます。体制が変わったからといって患者さんに対する看護の思いは変わることはありません。むしろ、今

まで以上に気を引き締め努めなければいけないと考えています。私たち看護部も四月から54名の新しいスタッフを迎え、今病院の中は生き生きとした顔で埋まっています。看護部の理念にも挙げましたように「その人らしい生活の実現に向けて誠実な看護の提供」に努めていきたいと思っています。

なお、看護職員は随時募集をしています。一緒に働いてくださる方は是非ご一報ください。お待ちしております。

看護職員さん募集

看護部

(直通)0572-22-5457

編集後記

広報誌「けんぴょういん」22号をお届けします。

少し遅めの桜が終わり、若葉が目まぶしい季節となりました。

県病院は4月から地方独立行政法人化し、早1ヶ月を過ぎようとしています。医療の水準を維持し、さらなる医療サービスの向上を目指して、職員一同取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会事務局
(総務課管理調整担当)

地方独立行政法人としてスタートしました

この4月より、約2年の準備期間を経て岐阜県立多治見病院は、
「地方独立行政法人岐阜県立多治見病院」としてスタートいたしました。

地方独立行政法人とは？

地方独立行政法人とは、**公共性が強く確実に実施する必要がある事業のうち、地方公共団体（県）が直接実施する必要はないものの、民間に委託した場合に必ずしも実施されない恐れがあるものを効率的・効果的に行わせる**ため地方公共団体（県）が設置する法人のことです。
公的サービスをきちんと提供する役割が、法律上位置づけられています。

目 的

医療従事者（医師・看護師など）の確保を容易にし、かつ機動的・効率的な運営を確保することで県民が必要とする医療をより良く、かつ継続的に提供することを目指します。

地方独立行政法人化によるメリット

メリット1 患者様のニーズへの機敏な対応が可能

病院事業は、医療を取り巻く環境の変化に機敏かつ柔軟に対応し、良質な医療を長期にわたって安定的に提供していく必要があります。今までは、自治体病院として制約がありましたが、この法人化により自立性、機動性、柔軟性に優れた病院運営が可能となりました。

メリット2 有能な医療スタッフの確保・効率的な予算執行が可能

組織、職員定数、予算などに制度的制約のある従来に比べ、弾力的な人事・予算制度等の運用による優秀な人材の確保や効率的な予算執行が可能となりました。必要とする医療スタッフを採用するまでの期間を大幅に短縮することや、病院経営に即した契約方法の採用によるコスト縮減等が可能となりました。

メリット3 より計画的で透明性の高い病院経営の実現

県は法人設立にあたり、中期目標を作成し、その目標を達成させるために法人（病院）に中期計画・年度計画を作成させます。法人（病院）は、中期計画・年度計画を達成するためにより計画的な運営が必要となります。また、地方独立行政法人法で設置が義務づけられている評価委員会により、事業実績の評価が行われます。より透明性の高い病院運営が可能となります。

地方独立行政法人化したことによって、医療の質が低下したり、患者様の負担が増加することはありません。中期目標では、病院の機能について現状以上の目標が定められており、その目標達成に向けて病院職員一丸となって努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



有限会社匠建設工事様から
車椅子三台を寄附していただきました。
心から感謝申し上げます。



多治見ライオンズクラブ様より
救命救急センターの医療向上のために
五十万円を寄附していただきました。
心から感謝申し上げます。

ご寄付
ありがとうございます

外来診療表

平成22年4月30日現在

診療科目		初診・再診別	月	火	水	木	金
1	内 科	初診	佐野	戸川	安藤	上野	吉村至 第1・3・5週
			—	—	—	—	西 第2・4週
		再診	安藤	夏目	戸川	西江	佐野
			麥島	上野	吉村至	西	山下
		初・再診	森賢 午前	—	矢島	森本	—
			小野 午後	—	—	—	—
			日比野	前川博	稲垣	日比野	河宮
			堀部	横井	堀部	横井	矢島
			膠原病・ リウマチ科	横田香 午前	—	—	横田香 午前
			腎臓	保浦	前田	遠藤	—
			血液	花村	岩井	徳山	岩井
2	外 科	初診	高木	—	—	—	近藤 第1・3週
			—	—	—	—	佐藤斗 第2・4週
		再診	近藤	高木	佐藤斗	近藤	高木
			佐藤斗 第1・3・5週	—	—	—	—
		初診再診	加藤久	森俊	加藤研	志津	高野
			志津	高野	加藤久	森俊	加藤研
		初診	桒田	亀山	桒田	末永	中藪
			末永	—	—	—	—
		再診	亀山	中藪	亀山	中藪	亀山
			—	犬塚	末永	桒田	末永
3	整 形 外 科	紹介初診	水野直	高津	伊藤茂	高津	山本
		初診	第1・3・5週 後藤	熊澤	熊澤	後藤	前川誠
			第2・4週	—	—	前川誠	—
		再診	熊澤	伊藤茂	後藤	伊藤茂	高津
			第1・3・5週 山本	山本	中野健	前川誠	水野直
			第2・4週	—	—	長谷川	—
		厚生相談	—	—	—	—	水野直
			—	—	—	—	—
		初診・再診	吉村真 第1・3・5週	風戸	吉村真	吉村真	風戸
			風戸 第2・4週	—	—	—	—
4	精 神 科	初診	高田	高田	中村博	高田	中村博
			再診	中村博	中村博	高田	中村博
	小 児 科	初診・再診	中野慕	中野正	立木	中野正	立木
			向井	荒川	中野慕	荒川	谷口
		特別外来	根岸	谷口	向井	佐々	柘植
			[心臓] 荒川	[初再診] 佐々	[相談] 中野正	[初再診] 根岸	[神経] 濱口
		午後 特別外来	[1ヶ月] 診察 柘植	[心臓] 荒川	[川崎病] 中野正	—	[乳児] 検診 荒川
			[内分泌] 根岸	[腎臓] 立木	[相談] 中野正	—	[立木] 中野慕
			[相談] 中野正	[二次予防] 向井・佐々	[アレルギー] 中野慕	[血液] 谷口	[谷口] 根岸
			—	—	—	—	—
		初・再診	末岡	園原	小西	吉田	出口
			小西	原田	出口	多代	宮嶋
5	脳神経外科	初診・再診	岸田	伊藤淳	西澤	伊藤淳 ・津野	西澤又は 伊藤淳
			間淵・山崎・稲垣・大森	・飯田・安井	・山田・成松	・三宅	・三宅
		初診・再診	石川	石川	石川	石川 第2・4週	石川
			酒井	酒井	酒井	酒井 第1・3・5週	酒井
		初診・再診	高士	桃井	高士	高士 [再]	桃井
			竹田	中村浩	中野知	森正	井本
		再診	中村浩	森正	竹田	—	竹田
			井本	中野知	森正	—	中村浩
		初診・再診	富田	加藤賢	上田	横田志	富田
			上田	富田	横田志	上田	加藤賢
6	産 婦 人 科	初診・再診	佐藤文	堀田	西尾	佐藤文	西尾
			再診	堀田	佐藤文	堀田	堀田
		初診・再診	富田	加藤賢	上田	横田志	富田
			上田	富田	横田志	上田	加藤賢
		再診	佐藤文	堀田	西尾	佐藤文	西尾
			堀田	佐藤文	堀田	堀田	堀田
		初診・再診	富田	加藤賢	上田	横田志	富田
			上田	富田	横田志	上田	加藤賢
		再診	佐藤文	堀田	西尾	佐藤文	西尾
			堀田	佐藤文	堀田	堀田	堀田

■診療時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)
■休 診 日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)

※予約のない方の診療受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時
※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。
※FAXで予約された場合でも、初めてご来院されたときに診療申込書の記入と保険証の提示が必要です。

外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者様には、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30～11:00
翌日以降の予約(平日) 13:30～16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。
※診察券のない初診患者様は、電話での予約はできません。
※診療機関からの紹介患者様については、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

初診患者様のFAX予約について

当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXしていただければ予約できます。

①氏名(漢字とフリガナ) ②性別 ③生年月日 ④住所と郵便番号
⑤電話番号(折り返し連絡する電話が別の場合はその電話番号も)
⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号 ⑦受診希望診療科名 ⑧受診希望日時

初診予約用FAX 0572-22-7948

※折り返し電話予約センターから電話を入れます。ただし、電話予約受付開始から1時間程度は予約電話が混雑するため、すぐにご連絡できない場合があります。また、電話予約受付時間以外の時間帯にFAXされた場合は、ご連絡が次の電話予約受付時間内になります。
※FAXで予約された場合でも、初めてご来院されたときに診療申込書の記入と保険証の提示が必要です。



環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています

この広報紙「けんびょういん」は当病院ホームページでもご覧頂けます。
URL <http://www.tajimi-hospital.jp/>